

## 令和5年度地域まちづくり活動助成金成果報告会 発表資料

区分	団体名	事業名	頁
スタート支援	やどり木	孤育てを防ぐために0歳～15歳までの子育てを繋ぐ	1-6
	特定非営利活動法人音頭座がらく	新しい形の祭り・盆踊りイベント提案プロジェクト～地域交流機会の創出と活性化～	7-9
	～ほ～むべ～す～	子育てと教育について考える、映画上映会	10-13
	東大阪ペタンククラブ	ペタンク&フランス文化体験会 ～健康促進と多様性のコミュニティづくり、フランス言語・文化と触れ合い世界の多様性を学ぶ～	14-15
	東大阪「通いの場」連絡会	東大阪市内の各種「通いの場」ネットワークづくり事業	16-17
	ダブルケア東大阪	ダブルケア当事者の居場所づくり事業	18-21
	特定非営利活動法人フリースペースかんの	～学校に行きにくい児童生徒へいろいろな機会を与える～ はじめの一步！	22-24
	EN	地域全員顔見知り（ご縁づくり）事業	25-28
	ちいさなて	子どもの夢を咲かせるバクプロジェクト	29-33
	ひのもと	みんなで考える「食」と「お金」	34-37
	よりみち	なんでもはなしてみよう会	38-39
事業チャレンジ	東大阪市障害者文化スポーツ大会	東大阪市障害者文化スポーツ大会	40-41
	弥刀もりあげ隊	トライアルしやすい商店街プロジェクト	42-44
	社会資源開発研究会	高次脳機能障害や若年性認知症の地域理解と当事者・家族の交流と社会参加促進事業	45-46
	NPO法人リード	ラグビーのまちでラグビーを「やってみる&やろう！」イベント	47-48
	特定非営利活動法人多言語・多文化サポートICHI	誰もが活躍できる多文化社会の実現に向けて	49-52
	ユメカナエフェス実行委員会	ユメカナエフェス2023	53-55

# やどり木



## 事業目的

\*コロナ渦の孤独な子育てを防ぐ

そのため人と人、人と物を繋ぎたい  
例えば・・・  
親と親  
子どもと子ども  
親と専門機関（専門職）  
人と子育てアイテム



## 活動内容 ~主な活動5つ~

- 1、未就学児親子の交流
- 2、保護者の交流
- 3、育児講座の実施
- 4、イベントの実施
- 5、リユース会の実施



## 活動実績

### 1、未就学児親子の交流 【ベビーヨガ】



旭町子育て支援センターでの活動を再開しました

活動実績  
2、保護者の交流  
【ママのおしゃべり会】



ランドリーカフェ ハレ

活動実績  
【あいおと会】 発達相談

発達障害への捉え方や  
学校への行き渋りの対応など



活動実績  
3、育児講座の実施  
【走り方教室】  
\* 理学療法士の先生に講座を依頼



くつのお話  
選び方のお話 →

活動実績  
3、育児講座の実施  
【食育 おうちパン】

子どもたちが成形  
お昼ご飯に焼きたてパン!



# やどり木

活動実績  
3、育児講座の実施

## 【情操教育 草花あそび】



四条市民プラザ

活動実績  
4、イベントの実施

## 【やどり木祭り】

・射的、ミニライブ、クッキー作りなど



四条市民プラザ

活動実績  
4、イベントの実施

## 【こどもの居場所づくり】

\*宿題や工作を異年齢で活動



四条市民プラザ

活動実績  
4、イベントの実施

## 【こどもの居場所づくり】

\*昼ご飯の提供 & お手伝い



四条市民プラザ

## 活動実績 5、リユース会の実施

【ぐるぐる会】  
\* やどり木祭りで開催

**やどり木  
~ぐるぐる会~**

◆使わなくなったアイテム◆  
必要としている方にお渡しし  
イベント券《200円分》をget

◇必要なアイテム◇  
不要になった方から譲り  
お気持ちずつなご基金へ

**つなご基金**  
基金は全て金券に使用し、まわりにまわってお返し  
人とモノとお金が循環できるように取り組みます！



## 事業成果と効果 ~申請時の目標と結果~

- ①公式ライン登録者200名以上  
現在269名で**達成**
- ②毎月の活動を年間50回以上継続的に実施  
今年度は53回開催で**達成**  
(参加総数600名以上)

## 事業成果と効果 ~参加者の内訳①~

\* イベント参加者の年齢層  
未就学児4割 小学生6割

**去年と今年ほぼ同じ**

年齢層	今年	去年	一昨年
未就学児	41	52	81
小学生	18	44	36

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■ 0-3歳 ■ 4-6歳 ■ 7-12歳 ■ 13歳以上

## 今後の事業目的

\* 長期休みに学年や校区を越えた  
『子どもの居場所づくり』を中心



### 自立・継続に向けて

広報・・・ふれあい祭りに参加

資金・・・やどり木まつりの拡大

人材・・・ママスタッフの育成

### 新事業：ママチャレ

- ・地域活動に興味のあるママのきっかけづくり
- ・やどり木の各地域リーダーを目指す

※ママのチャレンジを応援する、という意味合いから  
ママスタッフの人材育成事業を『ママチャレ』とする

ステップ①：やどり木イベントのブーススタッフを経験  
ステップ②：交流会や育児講座の運営をサポート付きで経験を重ねる  
ステップ③：新しい拠点地域で運営リーダーとなる

### 期待される成果

小中学生の居場所づくり  
⇒学校や家庭以外の地域に集う場所ができる

こどもたち  
保護者 ⇔つながり⇔ 地域

安心できる生活

### 期待される成果

こどもたち  
保護者 ⇔つながり⇔ 地域

困ったときに頼ったり  
相談できる関係の構築

孤独な子育てを地域全体で防ぐ

## 最後に

### やどり木は

R6年度も助成金事業として  
東大阪が子育てしやすい街になるよう  
孤独な子育てが防げるような活動を  
これからも継続いたします！



## 完



ご清聴ありがとうございました



令和5年度 東大阪市地域まちづくり活動助成金成果報告会  
スタート支援部門

**新しい形の祭り・盆踊りイベント提案**  
～地域交流機会の創出と活性化～

特定非営利活動法人音頭座がらく



**事業の概要**

こどもから大人までが楽しめ、地域コミュニティに参加しづらいこどもや若年層とその家族も気軽に参加できる「新しい形の盆踊り提案イベントを開催し、地域住民の交流と相互理解を深めるモデルケース形成を図る。」



↓

障がいのあるこどもやその家族も準備段階から参加するモデルケースと地域住民の世代構成に合わせた企画と会場準備・設営から運営までをパッケージ化し、その「新しい形の盆踊り提案イベント(“新春”音頭座がらく音楽祭 in 東大阪)」を開催。

**事業の目的(地域課題・社会的背景)**

令和4年度の「新しい形の祭り・盆踊りイベント提案プロジェクト」事業での意見交換会で、「障がいのあるこどもやその家族は、祭りや盆踊りに行きたくても躊躇してしまう。」「参加(出演)したくてもその機会がほとんどない。」という意見を受け、そのような社会が支えるべきこどもやその家族にも企画段階から携わっていただき、イベント参加・出演できる場を設け、地域住民の交流と相互理解を深める機会を創出する。



**事業の具体的内容**

祭りや盆踊り、各種イベントの企画・構成・施行に関する意見交換会やインターネットによる情報発信を実施すると共に、河内音頭をはじめとする伝統芸能の練習生・研修生の募集と講習会を重ねて、次代の担い手となる住民の参加機会を作る。

また、障がいのあるこどもやその家族も準備段階から参加するモデルケースと地域住民の世代構成に合わせた企画と会場準備・設営から運営までをパッケージ化し、その「新しい形の盆踊り提案」イベントを開催し、インターネットでも配信することにより、来場者以外にも広く訴求する。



**活動実績と成果・効果**

**〈祭りや盆踊り・各種イベントの意見交換会の実施〉**

※大阪府立東大阪支援学校・八尾支援学校、東大阪市立石切小学校に通う児童・生徒とその家族を対象にした意見交換会。

- ① 6/27(火)だんけ石切(放課後等デイサービス事業所):参加人数7名
- ② 9/30(土)だんけ石切(放課後等デイサービス事業所):参加人数6名



**具体的な課題の確認と対策案を検討**

・イベント参加・出演に対する不安や躊躇(当日の体調や精神面の不安定による他の出演者への影響を心配するが故の遠慮等)を払拭させるための準備体制構築。

**活動実績と成果・効果**

**〈河内音頭講習会の実施〉※ホームページ、各種SNS等で告知**

- ① 7/12(日) 東大阪市文化創造館音楽スタジオ1:参加人数 4名
- ② 9/3(日) 東大阪市文化創造館音楽スタジオ1:参加人数 4名
- ③ 10/29(日) 東大阪市文化創造館音楽スタジオ1:参加人数 4名
- ④ 3/10(日) 東大阪市文化創造館音楽スタジオ1:参加人数 3名



従来の師弟関係による口伝という形式ではなく、参加条件を極力設けずサークル的な気軽さで参加していただき、ほぼ同じメンバーがリーダーとなり、4名のステージ出演が実現し引き続き活動中。

**活動実績と成果・効果**

**〈新しい形の盆踊り提案イベント「新春」音頭座がらく音楽祭in東大阪開催〉**

※インターネットラジオ番組、ホームページ、各種SNS等で告知

1/14(日)東大阪市文化創造館多目的室:入場者数 135名



従来の音頭愛好家だけでなく、世代やジャンルをこえた来場者が楽しめる空間と時間の共有を実現。

**新しい形の盆踊り提案イベント【「新春」音頭座がらく音楽祭in東大阪】  
だいたいFM YouTubeチャンネルでダイジェスト版公開中!**



### 今後の事業展開

今年度は、令和4年度・5年度で実施してきた【新しい形の祭り・盆踊り提案プロジェクト～地域交流機会の創出と活性化～】事業のまとめとして、幅広いジャンルの音楽とともに、日本各地の郷土芸能や民謡が一堂に会するイベントの企画・設営・運営までをパッケージ化した提案を行い、各地域での開催に繋げて地域住民の交流を深める機会の維持・拡大を目指す。

また、河内音頭をはじめとする伝統芸能・文化の伝承と活性化を目的に、世代やジャンルを問わず様々な交流や情報をインターネットラジオ等により広く発信すると共に、河内音頭の練習生・研修生の募集と講習会を重ねて、次代の担い手となる演者養成を行う(令和4年度・5年度で4名が初舞台を経験し活動継続中)。

## 令和5年度 地域まちづくり活動 助成金 活動成果概要

～ほ～むべ～す～ (スタート支援部門 1回目)  
島田孝子、藤野扶貴子、緒方友紀

## 令和5年度の活動

～自主上映会の開催～

7月「夢見る小学校」 12月「みんなの学校」

これらの映画は、児童・生徒ひとりひとりの個性を大切にしている学校を舞台にしたドキュメンタリー映画です。



本来、子どものためであるはずの教育や学校が、  
「一斉授業」の名の下に  
決められたルールに子どもを従わせるものとな  
ってしまっていると感じています。

そう思ったのは、自分自身の子どもの  
学校への行きづらさを体験したからです。

ひとりひとりの良さ・個性を尊重するためには  
関わる大人たちがどう接すればいいかを考え、  
実践する機会を作ることが大事だと考えました。

初めての企画ではありましたが、日頃交流している  
地域や学校関係者の方々が足を運んでくださり、  
予想を超える人数の方に見ていただくことができました。



2023年7月「夢見る小学校」



2023年12月「みんなの学校」



別室で遊ぶお子さまたち

令和5年7月7日、8日「夢見る小学校」合計3回上映、  
参加者:総計142名。

令和5年12月10日 「みんなの学校」合計2回上映、  
参加者:総計113名。

延べ255名が鑑賞くださいました。

保護者をはじめ教育関係者など、日頃子どもと関わっている方々にも沢山足を運んでいただけ、これからの教育への関心の高さが伺えました。

協賛企業さんのご協力もあり、世代や子育てという枠を超えて社会的に教育について考える良い機会にもなりました。

今後も未来を担う子供たちを家庭と地域・学校が一体となって、安心して過ごせるまちづくりを目指します。

## 【広報】

SNSを活用し、ポスターの掲示、チラシの配布、市政だより、市ホームページへの掲載をおこないました。

事前準備から当日まで、地域活動支援室担当の方、運営スタッフと連携し計画通りに進行することが出来ました。

公式LINE登録は30名程度にとどまっていますが、インスタグラムは昨年1月の開設日に70名、1週間で250名、令和5年度4月の時点で700名を超える方にフォローしていただきました。(R6.4月現在1025名)

メンバーがそれぞれ、個人のアカウントで発信したり、フォロワーさんが拡散してくださり、たくさんの方と繋がることができました。

## 【アンケートの実施】

上映会で回収したアンケート用紙には、それぞれの思いの丈が綴られており「今後のご自身の活動に繋がっていきたい」など、広がりを感じさせる成果が得られ、思わぬ好感触も得たと感じています。

映画を見る前の気持ちと、見た後の思い感想を書いていたいただき、ご自身の感情を可視化していただくなどの工夫をいたしました。

この結果を次年度の活動に活かせるようにしていきます。

## 【成果を感じた理由】

子育てや教育に対して、同じような気持ちを持っておられる方々が多かったのだと気付かされました。

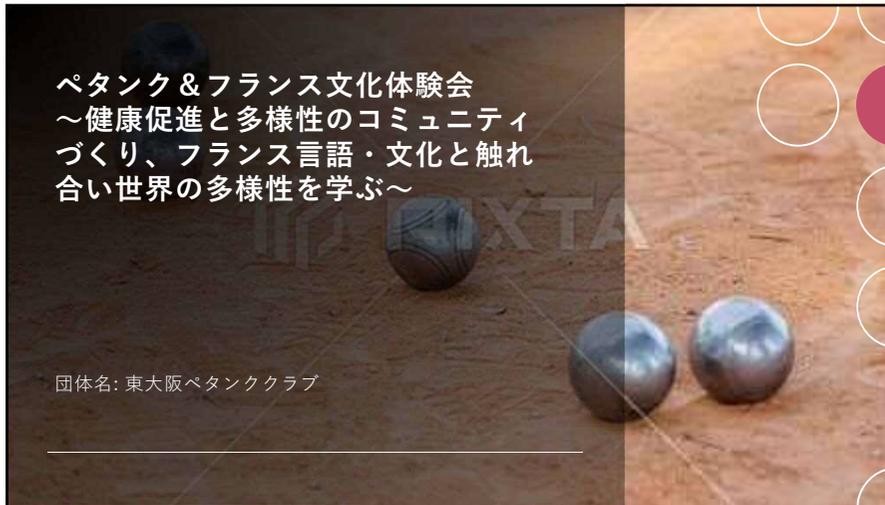
上映時間内にお子さんの保育をしたり、足を運んでいただきやすい時間帯にしたことも、たくさんの方にお越しいただけた要因だと思います。関係各所、飛び込みなどの広報活動も、功を奏したと考えています。

## 【次年度の改善点や工夫】

令和5年度の経験を活かし、より多くの方に足を運んでいただけるよう工夫に努めます。

有り難いことに既に上映会開催のご要望の声もあり、より充実した時間となるよう上映会後の交流会を設けるなどし、映画の感想のみならず、その後の生活の中での変化や取り組みなど、具体的な変化を共有し意識を高め合える場所、機会にしていく所存です。





### 概要

助成区分: スタート支援部門 (一回目)	助成金額: 196,713円	総事業費: 196,713円
----------------------------	-------------------	-------------------

### 事業の内容

1. フランス文化講座 & ペタンク体験講座
2. ラグビー試合時のペタンク体験及びパネル展示
3. 助成金活動以外でのペタンク体験の出席

### 事業評価

<b>3. 事業評価</b> 1 十分だった 2 一定できた 3 不十分だった	① 実施時期(日時)はよかったか	1	・	②	・	3
	① 実施場所はよかったか	①	・	2	・	3
	③ プログラムの内容はよかったか、事業目的と整合性がとれていたか	①	・	2	・	3
	④ 受益者は意図した人たちだったか、計画通りの参加人数があったか	1	・	2	・	③
	⑤ 実施体制、協力・連携団体・機関はよかったか	1	・	②	・	3
	⑥ 企画・準備はうまくいったか	①	・	2	・	3
	⑦ 広報はよかったか	1	・	2	・	③
	⑧ 予算は妥当だったか	1	・	②	・	3



## 事業の成果と課題

- 成果  
ペタンク普及の一定の成功、フランス文化（地域文化）への触れ合い
  - 課題  
ペタンクの認知度の低さ、その解決策としてのブース出展からの動線確保
- 



## 次年度の改善点

- イベント出展と東大阪ペタンクまつりの実施
  - 世代間を超越した交流による多様性への気づき
  - 出展の売上、イベント参加料、寄付金等による自立化
-

## 令和5年度 地域まちづくり活動助成金 成果報告会

団体名 東大阪「通いの場」連絡会  
 助成区分 スタート支援区分  
 事業名 東大阪市内の各種「通いの場」  
 ネットワークづくり事業

地域共生社会の実現のためには「住民自身が主体的に動く」ことが必要です。すでに市内で活動されている子育て・障害者・高齢者すべてに関係する“通いの場”の繋がりをづくり、それぞれの“通いの場”の充実や新たな“通いの場”の創設を目指すとともに、市役所担当部局や関係機関の協力も得て、様々な取り組みを展開していくネットワークづくりを目指しています。

令和5年度は、次の事業に取り組みました。

1. 「例会」「イベント」「公開例会」の開催
2. 市内の「通いの場」や関係機関に広報（郵送×6回）
3. 地域福祉ネットワーク推進会議への参加

## 取り組みの成果

会員数27（個人21・団体6）と目標の30には届きませんが、さまざまな取り組みで、ネットワークづくりに向けて確かな手応えを感じることができました。

特に「イベント」は、「つながろう『通いの場』大交流会」と称して2回開催、のべ100名ほどの個人や団体の参加をいただき、通いの場が抱える課題やイベントの進め方への助言など、有意義な意見交換や情報共有ができました。

## 「イベント」チラシの郵送



## イベント「つながろう『通いの場』大交流会」



8/27「イベント」の様子



2/4「イベント」後の記念撮影

## その他の取り組み

- 「例会」の開催  
毎月第2木曜日の夜間、会員に加えて関心のある非会員の方とともに、各種の情報交換・共有やイベント等の企画を行いました。
- 「公開例会」の開催  
12/17には、「公開例会」を開催しました。参加者は少数でしたが、活動紹介を行い、情報の共有ができました。2/4「イベント」のひな形になりました。
- 「地域福祉ネットワーク推進会議」への参加  
東・中・西地域で開催された「会合」に会員が参加、関係機関との連携に努めました。



## 今後に向けて

「会合」を、会員による「例会」、規模の大きな「イベント」、身近なところで誰もが参加できる小規模の「公開例会」の三つに分け、誰もが関心の持てる「会合」を目指します。「通いの場」に関心のあるある方すべてに対して、人（メンバー）や東大阪市内のさまざまな団体（社会資源）をつなぐことで悩みを解消し、活発な活動、活発なまちづくりに寄与していきます。

また、関係者への広報活動や会員による新規会員獲得に向けた取り組みを積極的に行っていきます（ホームページも始めています）。さらに、「地域福祉ネットワーク推進会議（東・中・西地域）」に積極的に参加、関係機関との連携に努めていきます。会員数については、令和6年度中に50、令和7年度までに100の確保を目指します。



ご清聴  
ありがとう  
ございました



## 令和5年度 「ダブルケア当事者の 居場所づくり事業」 成果報告

令和6年6月8日  
ダブルケア東大阪

## ダブルケアとは

狭義:子育てと家族の介護の同時進行  
広義:家族や親族など親密な関係において  
複数のケア責任を担うこと

- ・内閣府調査(2016)…約25万人
- ・8割が30～40代の働き盛り
- ・人口の約2%→東大阪市にも約1000～1500人
- ・晩婚化・晩産化・少子高齢化が背景に
- ・認知度は約20%(ソニー生命調査,2024)



## ダブルケア東大阪の活動

- ・2022年設立
- ・メンバー3名(いずれも当事者・経験者)
- ・賛同者・協力者多数
- ・全国のダブルケア支援団体と連携

### 活動内容

- ・ダブルケアの周知・啓発
- ・当事者からの相談対応
- ・ダブルケア月間(毎年2月)に合わせた啓発イベントの開催



## ダブルケア当事者の居場所づくり事業

- ・東大阪市内の沢山の方にダブルケアを知ってもらう  
→知っていることで当事者に声をかけやすくなる
- ・当事者同士が気軽に集い、情報交換などが行える場所を作る  
→当事者の孤立を防ぐ  
助けて、手伝ってと声を上げやすくなる

☆まち全体がダブルケア当事者にとっての居場所となる☆

## 周知・啓発パネル展

- ①7月13～20日 東大阪市長男女共同参画センター・イコーラム  
来場者数:約20名/日×7日間 計約140名
- ②9月1～14日 東大阪役所22階市民ギャラリー  
約100名/日×14日間 計約1400名
- ③2月1～8日 イコーラム  
約30名/日×7日間 計約210名

・来場者へのアンケート結果  
ダブルケアのことが詳しく知れてよかった・チラシを当事者の友人に渡したい・  
支援制度を整えてほしい …など  
・来場者がSNSなどで拡散→より広範囲での周知・啓発へ  
・SNSでのライブ配信→来場できない方にも会場の様子を知ってもらうことができた

## 周知・啓発パネル展



## ダブルケアカフェ

- ①6月20日(火) 地域密着型コミュニティスペース【ainowa】  
参加者数:9名
- ②8月22日(火) 地域密着型コミュニティスペース【ainowa】  
9名+託児7名+ボランティア保育士1名
- ③11月8日(木) ひとつなぎカフェ  
30名+子ども1名
- ④2月22日(木) コミュニティスペースYURUKA  
午前5名+午後5名+見学2名

・参加者の声  
とにかくダブルケアのことを話したい・介護の話は誰にもできなかった・  
みんなが話を聞いてうなずいてくれてうれしかった …など

## ダブルケアカフェ



第2回より ラグビーアパレルブランド  
COCORO UNITEDさんに協賛を依頼  
パウムクーヘンをご提供いただきました

## ダブルケアカフェ(第3回)



←まいるダブルケアの会  
えくぼ・小野範子さん  
「ダブルケアのハナシ」



セラピストによる→  
ハンドトリートメント

## HANAZONO EXPO2023 出展

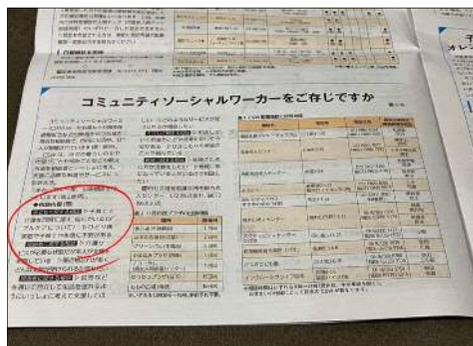


ミニパネル展+子ども向けぬりえ  
保護者へのチラシ配布

子ども77名+保護者約100名参加



## 市政だより11月号 CSWへの相談例として「ダブルケア」を記載



## ・毎日新聞 報道キャンペーン開始 ・4月10日 ダブルケアラー支援法案 国会提出へ



## 令和6年度 「ダブルケア当事者の居場所づくり事業 2024」

- ・5月12日 ふれあい祭り出店
- ・周知・啓発パネル展(7・2月)
- ・ダブルケアカフェ(7・8・11・2月)

令和5年度の反省や課題を活かし、継続して事業を行う

- ・パネル展:のぼりや大きな看板を利用し、通りすがりの人の目を引く工夫を行う
- ・8月のダブルケアカフェ:保育士による託児を行い、参加者が安心して話せるようにする

## ご協力をお願いします！

- ・もっともっとダブルケアの認知度を上げていきたい  
→ご家族・ご友人と「ダブルケア」について話してみてください
- ・身近にダブルケアの方がいたら…  
→まずは挨拶から、困っていそうなときは話を聞いてあげてください  
「助けて」「手伝って」「しんどい」と言っているんだよと伝えてください
- ・ダブルケア東大阪の活動をご紹介ください!!

ご清聴ありがとうございました



～学校に行きにくい児童生徒へ  
いろいろな機会をあたえる～

はじめの一步！

フリースペースかんの

## ▶ 目的

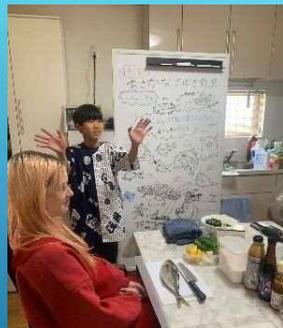
- ▶ ・きっかけ作り
- ▶ ・地域の人々の特技を活かした
- ▶ ・ワークショップを企画
- ▶ ・学校に行かなくてもいい選択

## 活動内容

- ①ワークショップに参加し、  
きっかけをつくる
- ②居場所をつくる

### ①ワークショップ

- ・ 78人（193人）40%
- \* その他（コミュニティハウス8丁目の企画）
- ・ 11人（30人）



お魚いっちゃん



アウトドア講座



かんで餅つき体験



マジックショー & 科学実験教室

## しゃべり場 2回

1回目：不登校

(元保護者2名+保護者6名)

2回目：発達障害と不登校

(助言者1名+保護者8名)

## ②居場所づくり

- ・木曜日のフリースペース利用  
あまり利用されていない。
- ・カフェ営業中の利用
  - \*園児と保護者が2回/週 6か月
  - \*中学生が相談や勉強 2人

## 改善点

- ・木曜日のフリースペース利用  
具体例をSNSでPRしていく
- ・日程を決めて募集するワークショップ  
→日程を決めない講座へ変更  
(やりたいことを相談して実施する)

## 活動ビジョン

- 一人一人に寄り添った計画を立てて実施、成功体験の積み重ねを！
- \*フリースペース利用の令和6年度実施予定例
    - 職業体験(あるグループの中学生)
    - ふれあい喫茶(不登校経験のある成人)
    - ネパール高校生と2人旅(実施済み)など

令和5年度  
まちづくり助成金 成果報告会

地域全員顔見知り事業

EN

事業目的

地域の交流の場をつくり交流を通して顔見知りが増え  
地域の高齢者から子供までが日常生活を  
安心・安全に過ごせる地域となる事を目指す

事業内容

- ①健康相談会
- ②ボードゲーム大会
- ③公園マルシェ
- ④昔遊び会
- ⑤まちの保健室



①健康相談会



外部講師（専門職）をお招きし、  
予防未病についての講座を開催。  
座学から体操等幅広い内容の講座を  
提供した。

専門職へ質問が出来る事で参加者の  
気になる悩みを解決出来た。

平均参加人数 10～15人（7回開催）



## ②ボードゲーム会



年齢に関係なく遊べるボードゲームを子供から大人までが一緒に過ごせる時間を提供。

おもちゃ感覚で遊べる事で時間を共有する。

ルールを教え合う事でコミュニケーションが生まれ、交流を深める時間となった。

参加人数 20人 (2回開催)



## ③公園マルシェ



地域のお店や住民と共にマルシェを開催。目的として、地域のお店やハンドメイド作家さんを知って頂く事と世代間交流を目指した。

JA玉川支店様の協力を得て「朝市」を開催して頂いた事で高齢者から子供までの多世代が来場された。盆踊りや青パトもあり、地域住民との交流を図る事ができた

来場者数 約1000人



## 公園マルシェの様子



## ④昔遊び会



地域のシニアの方達に協力して頂きシニアの皆様から子供達へ昔遊びを伝えて頂くイベントを開催。駒回しやお手玉等を一緒に楽しむ時間を過ごす事ができた。

飴細工や地域のママさん達による手作り緑日・フリーマーケットも開催し地域での横の繋がりを作る事ができた。また近隣施設から利用者様が遊びに来られ懐かしい遊びを思い出して頂く事ができた。

来場者数 約500人





## 昔遊び会の様子



## ⑤まちの保健室

地域のカフェやお花屋さん等に滞在し無料で相談会を実施。  
健康について、家族の介護や看護について、何気ない会話に隠されている本当に伝えたい事を読み取り、アドバイスを行った。



来場者 約

## 今後の課題や気づき

### ①健康相談会

初回は参加を待つ状態から、既にあるコミュニティへと場所を変更し開催継続ができた。ただ新規での参加は告知や認知度不足もあり増えずであった。  
次年度は新規参加に向けて告知を増やし開催する。

### ②ボードゲーム大会

こちらも認知度が低く告知が行き届かなかった。  
高齢者層へのアプローチは口コミや紙媒体がメインとなる。  
告知方法や告知場所等の検討が必要であった。

## 今後の課題や気づき

### ③公園マルシェ

地元の自治会や商店等の協力の元、告知ができ開催ができた。企業様との協力も得る事でシニア層への来場へも繋がった。地域の交流という点はお互いに顔見知りになれる程の交流を生む事はできていなかった。今年度は自治会や子供会、PTA等の協力を依頼し、顔の見える関係作りに繋げたい。

### ④昔遊び会

地域のシニアの方やママさん達の協力により、地元中心のイベントとなった。  
小学生の参加も期待していたが、開催曜日や開催時間の短さから高学年層の参加が少なかった。次回開催時は曜日や時間帯も再検討したい。

## 今後の課題や気づき

### ⑤まちの保健室

利用させて頂いていた場所の常連さんが多く、新規の方からの参加はほぼ無かった。告知が行き届かず、シニア層の相談は少数であった。

また自身だけでは解決できない事も多々あり、沢山の繋がりを持つておく必要があると思った。

## ご清聴ありがとうございました！



次年度も地域の「ご縁」を繋げていけるや役割となれる様  
地域の人達にとって、安心できる存在になりたいと思います。  
世代間交流を目指して、次年度も頑張りたいと思います。

**令和5年度東大阪地域まちづくり活動助成金事業**  
**こどもの夢を咲かせるバクプロジェクト**



任意団体 ちいさなて

おっきな恐竜作って  
みたいな!

トイレを作ろう!

旅を試みたい!

**多様な価値観を  
一つの空間に**

**地域に一つ必要な場所・・・**  
 多種多様な人々が繋がる場として  
 『コミュニティスペース』があります。  
 そして縦を横に繋ぐ場。  
 多様な価値観が直接的にも間接的にも  
 一つに空間に集まると  
 『互いを知る』きっかけになる。

ちいさなてはそんな空間を地域に作ろうと  
 活動をスタートしました。



自然や郷土史がたくさん残る生駒山の麓、  
 東大阪市日下町で、空き家になっていた昔ながらの平屋を  
 地域の人みんなで改修し作り上げた  
 コミュニティスペース『ちいさなて』  
 コンセプトは

**『ちいさなて』とは？**

『ごちゃ混ぜの相乗効果』そして  
 『アソビノナカニフクシノカクシアジヲ』

子どもを真ん中に、多種多様な人が繋がり、混ぜり合う。  
 『楽しい』『ワクワクする』そんな時間を共有する中で  
 多様な価値観に触れ、学校でもない、家庭でもない  
 地域での体験活動を通して大人も子どもも様々なことを  
 学んでほしいと思い、コミュニティスペースを拠点に活  
 動始めました。




子どものやりたいを応援!

自然遊び  
 昔遊び  
 廃材遊び

子どもの自由な発想と  
 自分のやってみたいと思う事を  
 子どもが安心して大人に  
 伝えることができる環境作りを  
 遊びを通して実現していく活動を  
 東大阪を中心に開催しています。  
 #子どもの夢を咲かせるバクプロジェクト  
 お友達になって  
 一緒に遊んでみませんか?  
 ちいさなて公式LINE→



**ごちゃ混ぜの相乗効果が  
地域を変える**

#障がい #高齢者 #子育て  
 それぞれが抱える地域課題  
 縦を横に繋ぎ、隙間を埋めていくのは  
 『子ども』の存在だと感じます。

子どもを真ん中に  
 多種多様な人が繋がる。  
 地域が繋がる。  
 無関心から少しの関心へ。

アソビノナカニフクシノカクシアジヲ

『ちいさなて』

生駒山の麓、東大阪市日下町にある  
 空き家を活用し地域の人みんなで作った  
 コミュニティスペースを  
 拠点に活動しています。  
 活動内容はこちら→



## 活動事例【里山で防災ワークショップ】



### 【活動内容】

里山にて、倒壊した家屋から活用できるものを探し出し、ライフラインに必要なテントとトイレを作ってみようというワークショップを行いました。

『好きや興味』を追求した大人として  
**防災士・防災福祉士の方**にご協力いただき、今日の前にもう一つ考えて創作する姿は大人が感動するほど！

一つの正解で優劣つけるのではなく、子どもたちが作ったものは全て正解！  
 そんな環境を作ることで子どもたちは最高の学びを体験してくれました！

## 活動事例【福祉施設で遊ぼう】



### 【活動内容】

障がい有無関わらずみんなで楽しめるイベントとして介護施設で100人規模の子ども食堂を放課後デイサービスと共同企画しました。

また地域の福祉施設を親子で触れるきっかけづくりとして

『福祉施設を回ってお菓子をもらおうハロウィンイベント』も大盛況でした！  
 高齢者・子育て・障がいの垣根がなく、同じ空間で同じ時間を共有し  
 多様な価値観を大人も子供も学びました。

## 活動事例【好きや得意を追求した大人に触れる】



### 【活動内容】

空き家をプロに教わりながら親子で改修する『大工塾』や

昔のトイレから派生する学びとして農業を遊びを通して触れたり『好きや興味』を追求した大人に触れるきっかけとして農家さんのお話を聞いたりしました。

また、スポーツを通して『好きを追求した大人』『楽しむ大人』に子どもたちが触れるきっかけになりました。

スポーツのプロ！！



外部イベントにも積極的に参加！  
 廃材遊びをたくさんの大人に見てもらい、  
 こどもの発想力、可能性を感じてもらいました！





## 『好き』や『楽しい』のその先に・・・

『遊び』を通して、未来を担う子どもたちが『好き』や『楽しい』と感じたその先に、『好き』を追求した大人がいるという仕掛けを作る。

「こんな仕事あるんだ」「この大人めっちゃ楽しそう」「いろいろな人がいるんだ」

そんな興味、体験が、将来の選択肢を広げ子どもたちの夢を咲かせる種になるかもしれない。

この『遊び』を一つのツールとして子どもたちに地域で出来る体験活動を通してたくさんのことを意欲を持って学んでほしい！

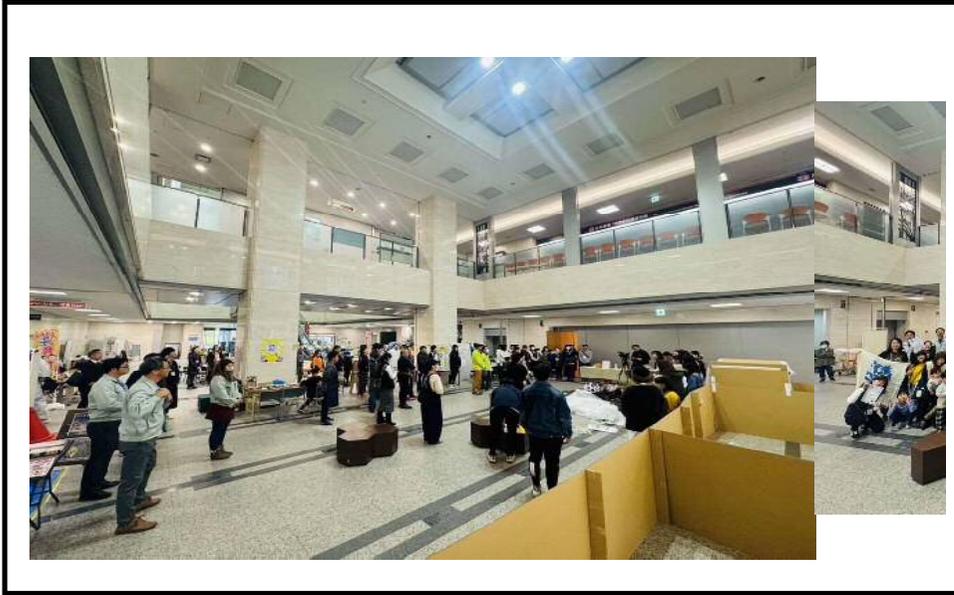
大人も子どもも好奇心からワクワクして、自ら考える時間を大切にする学びの場にしていきたいのです！

## ごちゃ混ぜの相乗効果 楽しいと感じたその先に伝えたいこと

子どもたちが多様な価値観に触れるきっかけになれば、  
地域課題の解決に繋がる。

そして、子どもたちが『やってみたい』を安心して伝えられる環境を  
大人たちで作ることが出来れば子どもたち夢の選択肢が増える。

そんな思いからごちゃ混ぜコミュニティの中で『遊び』を通して  
子どもたちに伝えたい大切なことを盛り込んだ活動をこれからも行っていきます。





HINOMOTO

# 東大阪市のまちづくり

06.08.2024



## 目次

- 01\_ 自己紹介
- 02\_ ひのものとの特徴
- 03\_ 子宝マルシェについて
- 04\_ 本気シリーズについて
- 05\_ インタビュー
- 06\_ さいごに

## 自己紹介



### 山崎 良

yamasaki ryo

東大阪市の小学校教員  
 東日本大震災の復興支援活動、香港日本人学校に勤務したことなどをきっかけに、日本の歴史や経済などを学ぶ。帰国後、日本の未来ことを考え学び合える場として、「ひのもと」を立ち上げ現在に至る。

## 「ひのもと」の特徴

01

### 地域活性化に向けた 子宝マルシェ

子供達が主体で、「商い」を学び、実践する場。地域の良さを伝えられる場。人と人がつながり合える場。

02

### みんなの やってみたいを実現

ひのもとでは、学校では習わない歴史や経済、政治について大人が楽しく学べる機会をつくる。

03

### 東大阪市 面白い大人の集まり

子供達に大人ってええな、未来は明るいな！と、思ってもらえるよう、まずは大人が本気になって楽しむ。



## 子宝マルシェ

Dのもと

### 主催 ひのもと

後援 東大阪市、東大阪市教育委員会  
 寄附 医療法人 寿山会 喜馬病院  
 株式会社 東匠庵 白穂  
 歯科あおき  
 緑甲園

協賛 SAORI 豊崎長原、株式会社 田建設、TSUNAGU、昭精会  
 大和屋、齊々屋、BAAMU LAB.、ひらくきち、石切回廊  
 TNKBASE、NPO法人 よりはうす、緑甲園  
 発達障害サポートセンターピュア

※東大阪市地域まちづくり活動助成金をいただいで活動しております

## 来場者数1000名超

ひのもと子宝マルシェでは、地域と子どもたち大人がつながり、地域活性化を目指しています。また、子どもたちの「やりたい」を実現させていける全5回のカリキュラムを実施しています。マルシェ当日の参加で出店するのではなく、全5回のミーティングを通して、自分の想いを表現させるための手段や方法や、近江商人の心構えである「三方良し」の思いを学びます。「なぜ、そのお店をやりたいのか」「お金のどのようになっているのか」「お店をひらくためには何が必要か」「誰が協力してくれるのか」など、その子にあった問いかけから、学ぶ意欲を掻き立てます。同時に、親子で学ぶ中で、親だけでは伝えきれないこと、伝わりにくいことを他の親や運営スタッフとともに共有しあうことで補い合えます。親だけで悩むのではなく、一つのコミュニティであり、ひのもと村でもあります。大人が得意を活かし協力し合うことで、子どもたちの成長を導ける集団となることがひのもと村となっています。



Dのもと



今回、石切夢道商店街のご協力のもと、石切回廊とひらくきちで子宝マルシェを開催しました。石切回廊では、企業ブースとして

①TSUNAGUさんのビドリビドリ棒や東大阪市町工場のブリキのおもちゃなどで遊べました。

②緑甲園さんは日本古来の菓である富貴園の展示と販売をしていただきました。

③昭精会さんには、貴重な辻子谷水車の模型をお借りして展示しました。

それぞれ出展していただき、多くの方に東大阪市の伝統や文化、歴史を知ってもらえかけとなりました。



ひらくきちでは、子供たちの出店、出演ブースとして活用しました。様々な子供たちのお店と、

大京博臨女子大学附属高校の書道部の書道パフォーマンス



八戸ノ里にあるダンススタジオ「デザイナー」さんのダンス



歌謡ハーモニカ演奏の「リュスティック」さん



子供たちの可能性は無限大！

地域力は防災であり防犯になる！

ひのもと★東大阪市で「未来は明るい」を実現！

地域の力がこれからの未来を支えると、ひのもとでは考えています。例えば、明治橋新で藤原や長州から偉人が輩出されたように、東大阪市から偉人が輩出される環境づくりを築きます。それには、地域の強みや歴史、伝統文化、産業などの自然環境との共存が重要となります。その地域であり、その土地にあった教育環境を醸成していくことが今後の課題となります。その課題をひのもとでは、子宝マルシェを通して実現させていきます。子供たちの「やりたい、実現したい」は、まずは大人が本来の「仕事は面白い」、「大人ってええで」を実現させていくことです。大人が楽しみ、汗を流し、語り合い、面白いことをやっている、そんな姿を見せることから始めています。

ひのもとを応援してくださる多くの皆さんの熱い思いが、東大阪市を！大阪を！日本を！大きく変えていける一歩につながることをと前じて取り組んで参ります。今後とも、ご支援ご協力とご寄付やご賛賛をどうぞよろしくお願ひいたします。

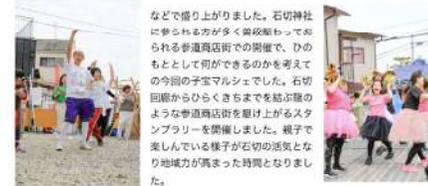


「いのちの地球」1000人合唱プロジェクトの歌



KEN & ナオコのTHE AHOKING SHOW MAN

みんなで踊らう！ジャンポリミッキー



感想より、

〇よりさんにお誘いいただき準備してきた子宝マルシェ。子供達が「大人っていいなあ」早く大人になりたいって思えるような大人でいたい。この子宝マルシェには「オモロイ大人」がいっぱいで最高でした。カッコつけじゃなくてホンマに楽しんでキラキラで惹き込まれる。シャイな長女も後半舞台上に上っちゃうほど！歳とか、大人子供関係なく「やりたいからやる」是非、たくさんの人に体感して欲しいです。運営スタッフの皆様、子供たちの素晴らしい笑顔を見ることができました。ありがとうございました。



〇子宝マルシェに参加してきました。ジュース屋さんを出させてもらい、多くの人に買いに来てもらえました。実際のお金や物をやりとりするお店という実社会の一端を体験したり、色々な人と交流したり、物事の楽しさや、成功も味わったり、また一つ貴重な経験になりました。主催や運営スタッフの皆さん、ステージに出演されて場を盛り上げてくださった皆さん、他のお店の方皆さん、どうもありがとうございました。



## ひのもと

Dのもと

○子宝マルシェにママ友7組で参加いたしました。完全に子供主体のマルシェ。お金のお融通や仕入れ、お店の準備から利益の計算まで！我が家の子供にはまだ少し早かったかな。と心配したけれど、お店屋さんとしてお友達と協力したり商売しながら（笑）しっかりと働いていました。素敵な経験になったと思います。また次回が楽しみです。素敵なマルシェをありがとうございました！市長がまさかのダンスをしてくれました！大人が楽しむ姿・・・とても素敵でした。



○J: COM紅色ネットワークに登場！我が子をじっくり鑑賞し、涼のゆびあみショップ、息子のイシの宝さがしも大人気！お友達やおばあちゃんも来てくれて嬉しかったね！お客さんの数もすごかった！良さん、携わってくださったスタッフ様、石切回廊、石切参道商店街、ひらくさちの御関係者の皆様、地域の大きな協力のもと、親子で楽しく学べたこと嬉しく思います。土曜日の朝6時のミーティング！子供達は自分たちで日にも把握し自主的に起きて参加して驚かされました。我が家では別名「バジヤミーティング」！！ミーティングを重ねる事にぼんやりしていた事が明確に見えてやる気みなぎる！お友達の作品やアイデアを共有してもらえてわかりやすい。涼雨を踏んでお店作りについて学びました。親という立場だけでは、正直な、私の場合だけど・・・感情、希望、欲、期待が大きくなってしまい求めている所がある（笑）だけど、地域の大人から教えてもらうことで、聞く耳をもち、販売するには何が必要か喜んでもらうには考える事ができました。



7

Dのもと

例年も子供に「ママのお店ちょう！自分で決める」と怒られたことが、私も学びました。目標金額なども自ら決めて、工夫していく姿にも感動。ミーティングのおかげで賢い気持ちのこもったマルシェに仕上がっていったと感じています。今月初参加して良かった！子供たちの達成感も大きく、お金を稼ぐ楽しさ、喜んでもらえる喜びを身体で感じてくれました。子供からは「早く大人になりたいと思ってたけど、今日のマルシェを経験して楽しかったので、もっと早く大人になりたいと感じました」と嬉しい感想を聞けた！ありがとうございました。そして、息子は@ahogami\_gakuenの大ファンになった！とりさんに会いに行くーとりさん楽しかったーほうき使ってたー大人も遊ぶの？って、うん！めっちゃ遊ぶよ！楽しいよ！と広えれた1日でした。

以上。

たくさんのご感想を頂き、ありがとうございます。



8



@HIGASHIOSAKA.HINOMOTO

こちらに情報を発信しております。  
ぜひ、フォローお願い致します。

皆様の貴重なご意見やフィードバックは、  
私たちのサービス向上に役立させていただきます。



令和5年度  
東大阪市地域まちづくり活動助成金事業

**なんでもはなしてみよう会**  
**なんでもはなしてみよう会・報告会**

よりみち

**事業目的**

- ・ 青年期を迎える知的障がい当事者が、安心して発言できる場をつくる。
- ・ 当事者が自分の思いを自由に発言することで本来もっている自分の力に気づき、地域社会でもいきいきと過ごす。
- ・ 当事者の気持ちを知る。

**事業内容**

- ・ 自由なおしゃべりの中から、自分を知る機会を得るとともに、自分以外の人の状況も知り、自己実現に向けたきっかけづくりを行う場の提供。
- ・ 当事者の意見を共有するための報告会の開催。

**活動実績**

- ・ はなしてみよう会会議 よりみちにて6回、 ZOOMにて1回 48人参加
- ・ 下見セッティング確認など 日下リージョンセンター 2人参加
- ・ なんでもはなしてみよう会 日下リージョンセンター 16人参加
- ・ はなしてみよう会振り返り会 よりみちにて1回 8人参加
- ・ はなしてみよう会振り返りと報告会会議 よりみちにて4回 31人参加
- ・ 報告会原稿作成、練習会 よりみちにて2回 19人参加
- ・ なんでもはなしてみよう会・報告会 日下リージョンセンターにて 14人参加
- ・ はなしてみよう会報告会振り返り会 よりみちにて1回、ZOOMにて1回 10人参加
- ・ 来年度の活動にむけての話し合い よりみちにて 7人参加



助成金事業参加人数 のべ155人

**なんでもはなしてみよう会** 12月3日日下リージョンセンター



## なんでもはなしてみよう会・報告会

2月4日 日下リージョンセンター



### まとめ

- ・事業の目的である、当事者が安心して発言できる場を提供することができた
- ・告知については、周知する難しさがあつた。SNSを制限されている場合も多く、チラシを何度も渡し、その都度に丁寧な説明を心がけた。
- ・成人を迎えた障がい者が、じっくりと話を聴いてもらえる体験が少ないことを知った。
- ・また、成人を迎えた障がい者の家族も学校等での横の繋がりが希薄になり、孤立している現実を知った。
- ・本人、家族、支援者、まわりのひと、だれもが当事者という目線で、地域と繋がっていきたい。

# 令和5年度活動報告

## 東大阪市障害者文化スポーツ大会

### 事業目的

- 障害者を含めた住民間の交流を増やしていく！

一緒にイベントを作り、一緒に参加することで相互理解を深め  
誰もが暮らしやすい東大阪のまちづくりの一助になる事が目的です。

### ボッチャ大会



### 展示会



## 大運動会



## 凧揚げ大会



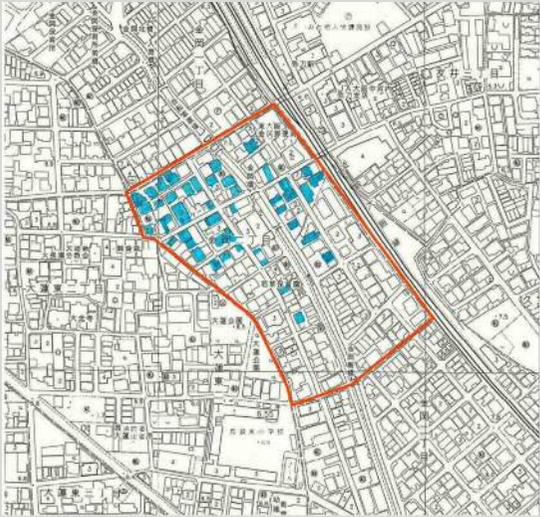
## 今後の展開

- 地域の方々との交流の機会を増やす！
- 当会に賛同いただけるスポンサーを募り持続可能な会になる！





現状把握している空き家



高次脳機能障害や若年性認知症の地域理解と当事者・家族の交流と社会参加促進事業

社会資源開発研究会

若年性認知症・高次脳機能障害の当事者数

○2020年3月に厚生労働省の研究班から発表された調査結果によると、全国の若年性認知症の人の数は推計で35,700人であり、18-64歳人口における人口10万人あたりでは50.9人。

○平成13年（2001年）度から5年間行われた高次脳機能障害支援モデル事業において、すべての年齢層をあわせて全国で約27万人、そのうち18歳以上65歳未満は約7万人と推定されています。

当事者・家族の声

- 仕事をしてくださるので、居場所がない
- 身近にわかってくれる人がいない。
- インターネットでいろいろ知ることはできるが、実際どうしてはわからない
- 仲間がいない。話す相手がいない。

社会資源開発研究会を紹介します

「私たち自身が地域のインフォーマルな社会資源となることが目標です」

私たちの団体は福祉専門職で構成させる有志団体です。活動目的は東大阪という地域に社会資源をつかっていくことです。現在は「若年性認知症」や「高次脳機能障害」の方の社会参加を促すことに主に取り組んでいます。具体的には月1回の当事者や家族の集まりの場を地域に設けています。



ルンティール「交流の場」 + 社会的な活動

地域の理解へ向けた講演会の実施  
当事者が登壇して話をする

「講演会」+ 市民への理解

市民公開講座  
暮らしを知るから！  
身近な感染症と予防対策

会場：東大阪 5月20日(土)  
14:00~16:30 (受付:13時30分~)

プログラム  
○「コロナ禍を経験して思うこと」  
講師：森内良裕氏  
東大阪の感染症に悩む市民の皆様  
○「身近な感染症と予防対策について」  
講師：廣野みさき先生  
社会福祉士大会で活躍する感染症対策  
感染症対策 感染症科 2階

会場：東大阪市文化創造館 多目的室  
料金は無料  
申し込み：東大阪市生涯学習センター 申し込み：500円 (送料別として) 定員：80名 (申込先着順)  
主催：問い合わせ先：社会資源開発研究会  
メール：s-spa@yokookai.jp fax: 072-951-9195  
電話：590-6196~3117  
〒590-0001 東大阪市東1-1-1 東大阪市生涯学習センター 2階

市民公開講座  
暮らしを知るから！  
若年性認知症と高次脳機能障害について

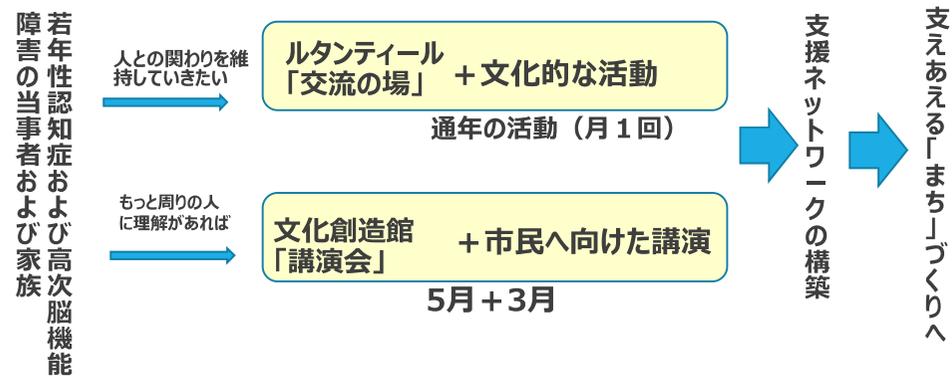
日時：令和5年6月22日(土)  
18:30~19:30

プログラム  
○若年性認知症について  
一般社団法人権利擁護センター きびな  
○高次脳機能障害について  
当事者の立場から

会場：東大阪市生涯学習センター  
申し込み：東大阪市生涯学習センター 申し込み：500円 (送料別として) 定員：80名 (申込先着順)  
主催：社会資源開発研究会  
メール：s-spa@yokookai.jp fax: 072-958-7397  
〒590-0001 東大阪市東1-1-1 東大阪市生涯学習センター 2階



若年性認知症や高次脳機能障害当事者が家族が社会的に孤立しないように



新たな取組として

地域イベントでの出店

一緒に体験することで、自然な理解へ場を提供される側から提供する側へ

花園エキスポ（11月4日）  
ふれあいまつり（5月12日）

リースづくり体験を当事者とともに出店しました。



母の日のプレゼントに！

リースづくり  
500円



2023~2024  
ラグビーのまちでラグビーを  
「やるみる&やろう！」  
イベント

NPO法人 リード

1：ラグビーの「まち」へ

・花園ラグビー場がある！

・見たことがある！



- ・「ラグビーをやるみる」：少
- ・「興味・関心がある」：少

・気軽に・運動で・教えて欲しい

- 1：習い事じゃない！
- 2：花園ラグビー場で、「運動をする休日」のヒトツへ。
- 3：現役ラグビー選手・元プロ選手から「学べる」

2023~2024：計8回



幼児

小学生



親子



7・8 親子ラグビー教室



幼児・小学生・大人が  
ラグビーを楽しみ・繋がれることで  
活気あふれる  
「ラグビーにまち」らしい  
まちづくりに貢献。

自立・継続的にまちづくり活動をしていくための改善点、新たな取組

お祭りや、その他の団体等との関わりを強め、  
ラグビーに触れる機会があるイベントを提供し、  
「ラグビーのまち」にふさわしい  
ラグビーを身近に感じれ楽しめる  
まちづくりに繋がる活動を。



多言語・多文化サポートICHI

事業名 誰もが活躍できる多文化社会の実現に向けて

目的

国籍に関わらず、多様な年齢層や地域の人が参加できる環境を整え、多文化・多言語社会実感の機会、多様な形の社会参加の促進を図る。

Key Words

多様性と寛容性のある地域社会の形成  
社会参加の促進  
若者の参加  
オンライン活用



多言語・多文化サポートICHI

事業名 誰もが活躍できる多文化社会の実現に向けて

実績

1. 多言語・多文化理解イベント「なぞとき世界旅行」4回
2. 多言語・多文化理解イベント「多言語ワークショップ」
3. 多言語・多文化理解イベント「料理ワークショップ」
4. 多言語・多文化体験イベント「ICHIフェス」
5. 教育機関との連携ワークショップ講座 など



事業の成果・効果

外国人住民の  
情報発信と活躍の場の提供

外国人住民の多言語・多文化を  
参加者と共有

オンラインイベントを通じた  
発信と多様な人との意見交換

教育機関と連携した  
課題の発見と意見交換

留学生や子どもの参加増加  
活動の幅の拡大

教育機関に招待していただく  
機会の増加



### 「多言語・多文化理解イベント」の実施

外国人住民の多言語・多文化を  
参加者と共有



「なぞとき世界旅行」  
フィリピンの子どもが遊ぶ役者ゲーム

外国人住民の  
情報発信と活躍の場の提供



「多言語ワークショップ」  
中国語のあいさつ・遊びに行く時の誘い方

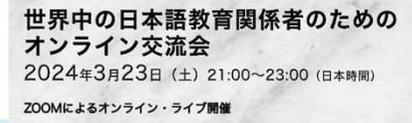
### 「オンラインの活用」の実施

オンラインイベントを通じた  
発信と多様な人との意見交換

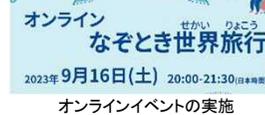


オンラインブースの設置

教育機関と連携した  
課題の発見と意見交換



オンラインイベントの参加



### 「若者の参加」を狙った活動の実施

留学生や子どもの参加増加  
活動の幅の拡大



外国人住民の多言語・多文化を  
参加者と共有



ダンスを通じた交流 「ICHIフェス」

### 「教育機関との連携ワークショップ講座」の実施

教育機関に招待していただく  
機会の増加



東大阪大学 公開講座  
「なぞとき世界旅行」

教育機関と連携した  
課題の発見と意見交換



日新高校  
「なぞとき世界旅行」

## 事業の成果・効果

外国人住民の  
情報発信と活躍の場の提供

外国人住民の多言語・多文化を  
参加者と共有

オンラインイベントを通じた  
発信と多様な人との意見交換

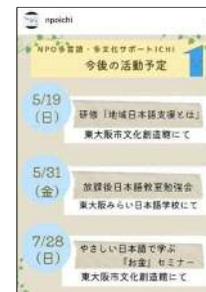
教育機関と連携した  
課題の発見と意見交換

留学生や子どもの参加増加  
活動の幅の拡大

教育機関に招待していただく  
機会の増加

## 不特定多数の参加者を募るために

1. チラシの配布
2. 本団体のHPやSNSでの発信
3. 「スクラムは〜と」「こくちーず」などの活用
4. 「いろいろな国のダンス交流会」の実施



## 今後の事業展開



子ども



対話



研修・セミナー



連携強化

## 今後の事業展開

- ・多様な文化や言語の発信の場
- ・主に外国人住民の方の活躍の場
- ・日本語教育や言語・生活支援の重要性
- ・当事者として考えられるような働きかけ

外国人住民の声を聞き、反映し、地域住民や教育関係者と連携しながら、  
多文化社会を築いていく



本助成金のイベントやオンライン日本語交流会、  
外国につながる親子の教室も行っています。  
イベントの企画・運営、SNSによる広報等、  
趣味や特技を活かしませんか？国籍年齢不問です！





**ユメカナエフェス2023 開催しました!**

概要のご紹介  
 2023年10月15日(日)  
 花園中央公園  
 10:00~17:00

コンセプト  
 ①夢の実現  
 ②動物愛護  
 ③地域美化

**タイムテーブル**

時間	10:00~11:00	11:00~12:00	12:00~13:00	13:00~14:00	14:00~15:00	15:00~16:00	16:00~17:00
10	10:00~11:00 AC PARK SCHOOL 10:30~11:00 お祭り広場	10:00~11:00 オープニング 11:00~11:30 お祭り広場	10:00~11:00 お祭り広場	10:00~11:00 お祭り広場	10:00~11:00 お祭り広場	10:00~11:00 お祭り広場	10:00~11:00 お祭り広場
11	11:00~12:00 お祭り広場	11:00~12:00 お祭り広場	11:00~12:00 お祭り広場	11:00~12:00 お祭り広場	11:00~12:00 お祭り広場	11:00~12:00 お祭り広場	11:00~12:00 お祭り広場
12	12:00~13:00 お祭り広場	12:00~13:00 お祭り広場	12:00~13:00 お祭り広場	12:00~13:00 お祭り広場	12:00~13:00 お祭り広場	12:00~13:00 お祭り広場	12:00~13:00 お祭り広場
13	13:00~14:00 お祭り広場	13:00~14:00 お祭り広場	13:00~14:00 お祭り広場	13:00~14:00 お祭り広場	13:00~14:00 お祭り広場	13:00~14:00 お祭り広場	13:00~14:00 お祭り広場
14	14:00~15:00 お祭り広場	14:00~15:00 お祭り広場	14:00~15:00 お祭り広場	14:00~15:00 お祭り広場	14:00~15:00 お祭り広場	14:00~15:00 お祭り広場	14:00~15:00 お祭り広場
15	15:00~16:00 お祭り広場	15:00~16:00 お祭り広場	15:00~16:00 お祭り広場	15:00~16:00 お祭り広場	15:00~16:00 お祭り広場	15:00~16:00 お祭り広場	15:00~16:00 お祭り広場
16	16:00~17:00 お祭り広場	16:00~17:00 お祭り広場	16:00~17:00 お祭り広場	16:00~17:00 お祭り広場	16:00~17:00 お祭り広場	16:00~17:00 お祭り広場	16:00~17:00 お祭り広場





## 地域の意識改革

東大阪市・布施のストリートイベント  
「フェスト」との清掃活動



東大阪市・花園での  
清掃活動



連携イベントと協力した  
清掃活動

地域美化の意識UPを図る

フェスで集客



地域をまきこむ



## 美化意識UPの取り組み

啓発

出演者がステージで啓発

楽しみながら啓発

清掃活動

地域の方々を巻き込み、清掃  
活動を実施

参加したくなるような工夫

地域を巻き込む

・東大阪市内の大学へ出演やボランティア  
スタッフの募集  
・東大阪市内の中小企業さんへの声掛け

集客

音楽ステージ・キッチンカー、ワーク  
ショップ等様々なコンテンツで開催  
今まで美化活動について興味なかった市  
内外の方にも発信

美化意識に繋げる

## 長期的な展望

東大阪市内での定期的なイベント開催

- ・年2回の清掃活動
- ・フリーイベント

公園を利用する人との関わり

- ・コミュニケーションによる情報収集、マナー改革

地域猫の里親募集

- ・保護猫団体さんへの寄付、飼い主のいない猫の削減